

めあて

はじめた時間 :

☆ 動詞の種類が、be動詞か一般動詞かによって、否定文の作り方が、
変わる。

① be動詞の場合

be動詞のあとにnotを置く。

例 【肯定文】 You were tennis player.

あなたはテニス選手でした。

【否定文】 You were not tennis player.

あなたはテニス選手ではありませんでした。

☆was not = wasn't were not = weren't のように省略して書くことができる

② 一般動詞の場合

一般動詞の前にdidn'tを置き、動詞を原形に戻す。

例 【肯定文】 You played baseball yesterday.

あなたは昨日、野球をしていました。

【否定文】 You didn't play baseball.

あなたは昨日、野球をしていませんでした。

☆didn't は did notを略した形である。

ふりかえり

おえた時間 :